

Fabluxe DS商品説明

角形・円形鋼管柱-H形鋼はり用
 柱はり接合工法

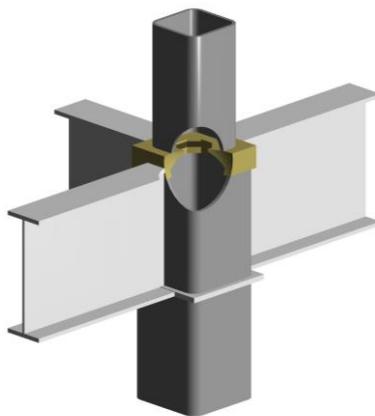
2022年8月26日
 旭化成建材株式会社

2

Fabluxe (ファブラックス) DSの特長

ファブラックス = ファブが楽する(ラクスる)

DS = Dansa Shibori



特長 1) 柱絞り対応可

上下階で柱サイズの異なる柱はり接合部

特長 2) 柱材の偏心接合対応可

上下階の柱心が偏心している柱はり接合部

特長 3) 円形鋼管と角形鋼管の接合対応可

下階が円形鋼管でも上階を角形鋼管に

特長 4) 50mm程度のはり段差対応可

高さ110mmのFabluxe-DSがはり段差を吸収

特長 5) 斜め柱、斜めはり対応可

セットバック柱、勾配屋根の納まり簡素化

特長 6) 在来ダイアフラムとの併用可

接合部上部(下部)だけでも必要な箇所

特長 7) 溶接性に優れた専用鋼材

本内容・仕様は2022年8月現在のものです。

2022年8月26日：配信先限り JSCA東北既製品仕口の講習会 ご説明資料
 Copyright © ASAHI KASEI CONSTRUCTION MATERIALS CORPORATION. All rights reserved.

5

5

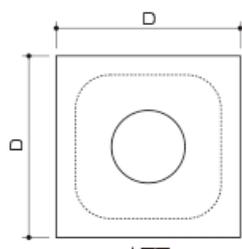
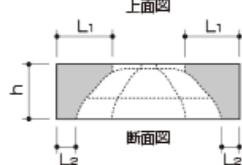
AsahiKASEI 旭化成建材

Fabluxe DSの製品概要

■ 形状寸法、材質

形状寸法 (単位: mm)

品番	外径(D)	高さ(h)	柱取付面幅	パネル取付面幅	質量(kg)
			L ₁	L ₂	
DS25	253	110	80	25	38
DS30	303		95	30	53
DS35	353		105	35	70
DS40	403		115	40	88
DS45	453		125	45	109
DS50	503		130	50	140

材質
Fabluxe DSは柱はり接合部専用鋼材として国土交通大臣認定を取得しています。

建築構造用柱梁接合部鋼材(FX490D)	基準強度325N/mm ² (MSTL-0332)
----------------------	--------------------------------------




本内容・仕様は2022年8月現在のものです。 2022年8月26日：配信先限り JSCA東北既製品仕口の講習会 ご説明資料
Copyright © ASAHI KASEI CONSTRUCTION MATERIALS CORPORATION. All rights reserved. 6

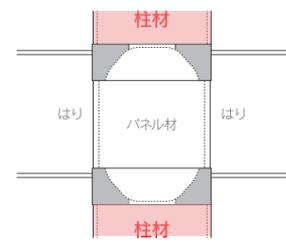
6

AsahiKASEI 旭化成建材

Fabluxe DSの製品概要

■ Fablue DSに接合できる柱材 (単位: mm)

品番	角形鋼管		円形鋼管	
	外径	板厚	外径	板厚
DS25	150	12以下	216.4	12以下
	175			
	200 ^{偏心可}			
	250			
DS30	200	12以下	267.4	16以下
	250 ^{偏心可}			
	300			
DS35	250	16以下	318.5	19以下
	300 ^{偏心可}			
	350			
DS40	300	19以下	355.6	19以下
	350 ^{偏心可}			
	400			
DS45	350	22以下	406.4	19以下
	400 ^{偏心可}			
	450			
DS50	400	25以下	457.2	22以下
	450 ^{偏心可}			
	500	32以下	500	



〈適用する鋼管品種〉

- ・ 一般構造用角形鋼管 (STKR400, STKR490)
- ・ 建築構造用冷間ロール成形角形鋼管 (BCR295, JBCR295, TSC295)
- ・ 建築構造用冷間プレス成形角形鋼管 (BCP235, BCP235C, BCP325, BCP325C, BCP325T)
- ・ 建築構造用熱間成形角形鋼管 (SHC400B, SHC400C, SHC490B, SHC490C, BSH325)
- ・ 溶接組立箱形断面柱 (SM400A, SM400B, SM400C, SN400A, SN400B, SN400C) (SM490A, SM490B, SM490C, SN490B, SN490C)
- ・ 円形鋼管 (STK400, STKN400W, STKN400B, STK490, STKN490B) 記載のない鋼管品種についてはお問い合わせください。

基準強度(F値)：235N/mm²~325N/mm² 偏心可…25mmまでの柱心の偏心が可能

本内容・仕様は2022年8月現在のものです。 2022年8月26日：配信先限り JSCA東北既製品仕口の講習会 ご説明資料
Copyright © ASAHI KASEI CONSTRUCTION MATERIALS CORPORATION. All rights reserved. 7

7

Fabluxe DSの製品概要

AsahiKASEI
旭化成建材

■ Fabluxe DSに接合できるパネル材

(単位：mm)

品番	角形鋼管・組立箱形断面	
	外径	板厚
DS25	250	16以下
DS30	300	19以下
DS35	350	22以下
DS40	400	25以下
DS45	450	28以下
DS50	500	32以下

〈適用する鋼管品種〉

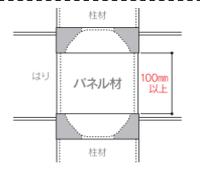
- 一般構造用角形鋼管 (STKR400, STKR490)
 - 建築構造用冷間ロール成形角形鋼管 (BCR295, JBCR295, TSC295)
 - 建築構造用冷間プレス成形角形鋼管 (BCP235, BCP235C, BCP325, BCP325C, BCP325T)
 - 建築構造用熱間成形角形鋼管 (SHC400B, SHC400C, SHC490B, SHC490C, BSH325)
 - 溶接組立箱形断面柱 (SM400A, SM400B, SM400C, SN400A, SN400B, SN400C) (SM490A, SM490B, SM490C, SN490B, SN490C)
- 記載のない鋼管品種についてはお問い合わせください。



基準強度(F値)：235N/mm²～325N/mm²

注意事項

- パネル材は、FabluxeDSのパネル取付面に取付けることとし、外径がFabluxeDSの外径と同一の角形鋼管とする。
- パネル材に使用する鋼管の曲げ耐力は、上下階柱それぞれの曲げ耐力以上とする。
- FabluxeDS同士もしくはFabluxeDSと通しダイヤフラムとを連結するパネル材の長さは100mm以上とする。



本内容・仕様は2022年8月現在のものです。

2022年8月26日：配信先限り JSCA東北既製品仕口の講習会 ご説明資料

Copyright © ASAHI KASEI CONSTRUCTION MATERIALS CORPORATION. All rights reserved.

8

8

Fabluxe DSの製品概要

AsahiKASEI
旭化成建材

■ Fabluxe DSに接合できるH形鋼

(単位：mm)

品番	フランジ		ウェブ
	幅	厚み(F235材)	厚み(F値共通)
DS25	250以下	25以下	12以下
DS30	300以下		
DS35			14以下
DS40		30以下	
DS45	30以下		16以下
DS50			

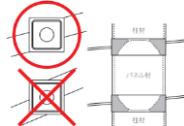
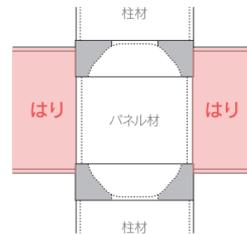
基準強度(F値)：235N/mm²または325N/mm²

〈適用するはり材品種〉

- 一般構造用圧延鋼材(SS400, SS490)
 - 溶接構造用圧延鋼材(SM400A, SM400B, SM400C, SM490A, SM490B, SM490C)
 - 建築構造用圧延鋼材(SN400A, SN400B, SN400C, SN490A, SN490B, SN490C, SN490C-TMC)
 - 一般構造用溶接軽鋼H形鋼(SWH400)
 - 建築構造用溶接軽鋼H形鋼(SWH490W, SWH490B)
 - 建築構造用TMCP鋼材(TMCP325B, TMCP325C)
- 記載のない鋼材品種についてはお問い合わせください。

注意事項

- はりフランジは、FabluxeDSの側面に対して平面方向に斜めに接合することができる。ただし、FabluxeDSの角部を跨って取付けてはならない。
- FabluxeDS側面へのはりフランジの接合位置は、はりフランジ面をFabluxeDSの上下端部から15mm以上離さなければならない。※但し書きあり。詳細は後述する。
- はりフランジは、FabluxeDSの側面に対して鉛直方向に斜めに接合することができる。



本内容・仕様は2022年8月現在のものです。

2022年8月26日：配信先限り JSCA東北既製品仕口の講習会 ご説明資料

Copyright © ASAHI KASEI CONSTRUCTION MATERIALS CORPORATION. All rights reserved.

9

9

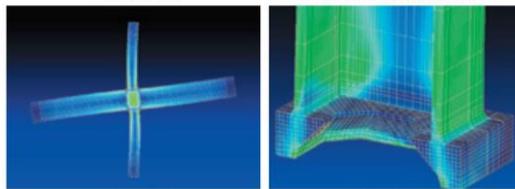
Fabluxe DSの構造安全性

■ FabluxeDSを用いた柱はり接合部の性能

FabluxeDSは、(一財)日本建築センターの一般評定を取得。

実大実験や数多くのFEM解析によって高い耐震性能が証明されています。

柱絞り等の多様な用途に対応するためには、はりフランジ接合部局部引張実験・十字架構実験や様々なFEM解析を行っており、FabluxeDS工法を用いた架構の剛性評価や、柱材・はり材およびパネル材から複合的に力が作用する接合部の挙動についてその構造安全性を確認しています。



本内容・仕様は2022年8月現在のものです。

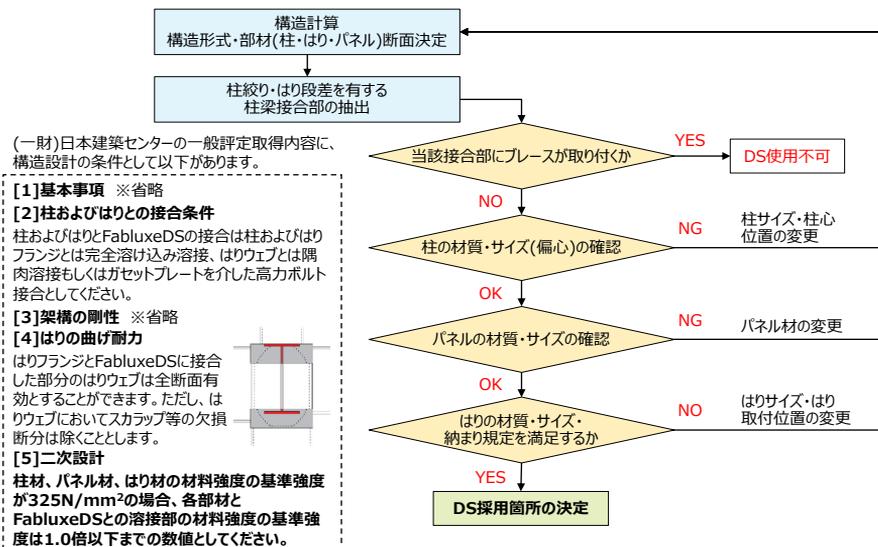
2022年8月26日：配信先限り JSCA東北既製品仕口の講習会 ご説明資料

Copyright © ASAHI KASEI CONSTRUCTION MATERIALS CORPORATION. All rights reserved.

12

12

Fabluxe DSの検討フロー



本内容・仕様は2022年8月現在のものです。

2022年8月26日：配信先限り JSCA東北既製品仕口の講習会 ご説明資料

Copyright © ASAHI KASEI CONSTRUCTION MATERIALS CORPORATION. All rights reserved.

13

13